# 上氣を振作、

神的結合による熱種的受別運動は大腿風聴代を現出した、この時にあたり、情態、昏は、義務教育

南絕督はこの重大なる半島統治上の一大轉換期に際し全鮮の士氣をり半島二千三百萬民衆は彌が上にも結束を强固ならしむる時が來た半島の軍事、國防、亦業、經濟、交通は帝國大陸政策の一大腹點となり、 不退轉の決意を固むるの重大局面に直面した、この秋にあたり朝鮮 る貮人盛明を中外に宜し、長期戦時體制の第二段階に入り愚國一 時恰も帝國政府は過般御前會議を基礎とし蔣政権の長期抗戰に備 志願兵制度を實施することとなり、過般來東上し脚下に伏奏し、 **幸合も育園東付よ過股卸前會議を基礎とし務政権の長期抗職に備へ或は意見の交換を行つて施政上の決意を更に強固にして歸任したが** を前提とする學制改革、並に真に劃期的な一大英雄である半島人の

から中樞院參議、朝鮮貴族、朝鮮人有力者に、午後一時三十分から在城實業、財界の有力者を、同二時三十谷に午前十時から第一會戒室に各道臨時知事會談を開催し、今後に對する施政の根本方針を炯明、更に同十一 るため、廿二日は午前九時半から本府高等官以上外局課長以上を本府第一會議案に招集してこの決意を披瀝しまため、廿二日は午前九時半から本府高等官以上外局課長以上を本府第一會議案に招集してこの決意を披瀝し振作、緊張せしめると共に今後に於ける施政の大方針と、その中に流れる國民精神經動員の徹底强化を呼びか振作、緊張せしめると共に今後に 通信社代表者を招致して以上の趣旨に基き協力を求める處があつた(寫眞は臨時道知事會議)

於木會議開かる<br />

番に二荒芳德伯質問

趣旨徹底

知事は直に歸任

題任の途についたが、小向各 理師を可及的連かに合く半島を 丁二日の緊急知事食同に於て **人を悟の把握並に内鮮一覧の端** 

船鄉鮮調 かた闘 部の打合会は二十二日午後一時か充計報樹立のため、總督存並に軍 針に蜀上隴産なき食見の交換を行力年訓練の指導並に将來の成元方 現在鮮内公立八十三、私立十二の 時間には際し半島は古年間域所域 青訓 打合會開かる

風調である 型調である 型調がである 型調がである 型調がである 型調がである 型調がである 型調がである 型調がである 型調がである 型調がである

の 阿欧政局における演 地位を見るに今や新阪も 地位を見るに今や新阪も 市接線を満たにするに宝 本で一月末光づイタリー 大いで コンスペインフランコ 特 おいの間に正式永遠を行 時との間に正式永遠を行 ある。

する所である。この上とも日本する所である。この上とも日本は不正洋年突突にも同つ作り加まる正洋年突突にも同つ作り加まる正洋年突突にも同うになる地域を持たる。 領達のため田来得る譲り勢力を 割達のため田来得る譲り勢力を

調画間多年の服業た

今次 事材の組含も一面に

4 本 リスとの関係については首領政府は日英国関の傳統 大大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学に出てられたが大学なる理解を相対されては関係学の大学にあれる。 大きな対の大学には関係的な政権についても日英関係の東接が大学を選供されておける首例の主機を示し来る。 における首のの主機を示し来る。 における首のの主機を示し来る。 における首のの主機を示し来る。 における首のの主機を活動力して関係の根語相違にあった。 における首のの主機を活動して地位の根語相違にあった。 ですると実に、表が関係とも対して関係には対するの悪疾に出てられた。ことを希望して大学の主義に関係にはである。 では同様にはが対象に関係といいにといいにある。 ないがである。 ないがである。 ないがである。 ないがである。 ないがである。 ないがである。 ないがである。 ないがである。 ないがである。

## 臨時道知事會議 史に各會同も緊張裡に開 開催さる

一流電話 政府は二十二日の名

曜日も開く

宮少将に本府陸海軍剛用掛が列席|脳任して夫々部下にその間を下籍|り同十時終った 肝からは南魏賢以下各局課長参 | 何を代表して答辭を遠べ、阿十時 | 崇指源の立場にある官吏の決意を 軍部から朝鮮憲兵隊司令官二十年数ぎしたが、各道和事は直ちに一頭居たらしめる横頭闘する虐があ

歴史閲覧領事以下十三進制事は | し、實行に移すこと、なつた

同課長ら招集

が取して出席、開食直ちに南總督

中樞院參議及

實業言論界等

實施、及び學維故草に就き所信を 重大整明並に朝鮮人の志願兵制度 信託即ち貫振界の代表者四十餘名 更に午後二時半から在場新聞、通

作生 十一月日周防火湯次 に参加し程に日間担に関か防火 の展質に堪へない所で、政府は ・「グッ、「カリー・研で、政府は ・「グッ、「カリー・研で、政府は ・「グッ、「カリー・研で、政府は

を 年

 一の理想と目的を造成
 一の理想と目的を造成
 一の工事を成立を、共の一は朝鮮人志
 世の実施、年の二は教
 世の実施、年の一は教
 世の実施、年の一は教
 世の実施、年の一は教
 世の実施、年の一は教
 世の実施、年の一は教
 世の実施、年のである
 本の理解と自的を造成
 世の実施、年のである
 本の理解となる
 世のである
 本のである
 

より生れたものと見る即ち本制度質施の機理 四次2位 に小場所生以来語言
対向に特別の母なからした。
東京とこの構成の母なからした。
東京とこの構成の母なからした。
東京とこの構成の母なからした。
東京とこの構成の母なからした。
東京とこの構成の母なからした。
東京とこの構成の母なからした。
東京との構成の母なからした。
東京との構成の母なからした。
東京との構成の母なからした。
東京との構成の母なからした。
東京との構成の母なからした。
東京との情報の母なからした。
東京との情報の母なからした。
東京との情報の母なからして、
東京との情報の母なからして、
東京との情報を持て、
東京との情報を持て、
東京との情報を表現したく
東京という。

朝鲜德诗一南一

决郎

の擴充

としてはは関の事情連にその土 地に即じる関と外の手情連にその では別かながらかっつった貿易 であって、前をはらりつつ一方貿易 であって、前を出っ であって、前を以てトルコとの 間に連歩機関との動材を大手と動 個與するに一昨年に比し職入金 郷において三知五分配り、又職 別では、「一門八分の献り、 大郎原因とエネス会自の互動に 指立因とエネス会自の互動に おける経濟的環境につめ、 として存指してゐるので、或舟 として存指してゐるので、或舟 ジャムとの間に重視協

通過 商 ほわ及びイタリー館

+

版に地に上げる日伊同道南道加 原文を開発した大学を 所に種との変な収録の事情を 所に種との変な収録の事情に では、著くは多数質性する場 の策調の結果本事品が序の場 に田でたるのもあつたとは に田でたるのもあつたとは で田であるが、彼 で田であるが、彼 で田であるが、彼 で田であるが、彼 で田であるが、彼 で田であるが、彼 で田であるが、彼 で田であるが、彼 で田であるが、彼 とする所である ことは歌に奉ひ

理的に協定しその経済的研修を

理的に臨光し半の経済的射排を 型温度に変更を対しては、重全性の 型温度に変更を対しては、重全性の 型温度に変更を対しては、重全性の 変更のため吸消は目下内外に重 方度やの仕間をがしつる名。 で担塞さくを単し、近の平市 を指揮さんとにてる関氏は相互 に超速して聴展を集まにし相互 に対象をがある。

はいて変元側がこの點において はいて変元側がこの點において は、ない表示の大ととに基内に は、の対象等は係を掛っするため には日安・明知に対って、とに基内に は、の対象等は係を掛っするため には日安・明知に対って、とにない を対する必要がある。とには、のか、と 要好する投が同に性。我が固有 かれ、とによっして、変化中毒に一層の がある。たは有と同時に共か固有 でかい、といないの人こととは必ずると を可分析の所の上では、まが固有 でかい、というの人。ととであるので をがしてもの様かには、は、の気を かれ、とによっしの人。ととは、場合 である。なは有と同時に表述の でかして、というの人。ととは、ある でかい、というの人。ととない。 では、という、というと、 は、とするものである。というので のために強格し、久也をもかと、 と、ないでも、と、ないで が、ないでも、と、ないで が、ないた。と、と、こ、ないで のである。と、と、ないで のである。と、と、こ、と、こ、と、こ、この目的 のために、ないで、と、と、こ、この目的 のために、ないで、と、と、この目的 のために、ないで、と、と、この目的 のために、ないで、こ、と、この目的 のために、ないで、この目的 のために、ないで、この目的 のために、ないで、こので、このである のである。

## 24へてあるのが樹目を整く、鴨城。以後における曹國政府の外交報道。十一時六分米内海州登城・友明治(イドリス大便が貨税席に野然と「七鷹日外州送城・先づ七十二隊會」て陸相の範明を翻き入る。代いて 【東京電話】意義所が、事勢下最初 [ て別項の如う基別抗戦、容共國民 ] 図との外交經過を説明三十分に立 [ する数間に入り回] | 十五分第一郎 に近南首併以下各関が大臣が緊 |新貝の歴現、その中にクレギ | 洩らさじと傾着する、同せ八分で

對し断乎これを相手とせ

木戸文相 社会教育は

**鬱解决に努めんとす** 

の決意を以て

近衞首相の演說要旨

東亞の禍根を除きつ、

八義を宇内に顯揚

々と説けば議場は一言一句も聴き

相發言を求め十時五十五分生逝、

二荒芳德伯母系公司

黄田外相の演説要旨

次に イタリー関数符は全次 イタリー関数符は全な る

附内の志

非常なもので現在意英線を通じ、力者を十名が仕目標山御政に御政とあるが内地在住の年島人の歌書。反こは整構、知部野の団地から有

森本部隊 【殿民元 步兵

|く及ぶ闘である。かくて北支氏を

先に華政の慇懃に浴し生活の支定

車魔金奉岩

北支民衆に

大阪六名、京都五一会りをし、近く法令の公布を持

が破滅兵分除へ二十二日三、まて一

百一名となる

北安一億の民衆に華政の幾甲が晋北安福深間緩の増進を原則として

に至る監察総道の政務作業に且下、総道局車改会奉旨、とは目下京畿

れた中華民國国時政府で開税大幅一府に封する思想の情が例ざ上して

は民衆の日常生活安定、戦闘 一般都を振った避難民の教院

膠灣鐵道近く開通

北京二十一日問題。今向敬表さ

闘税の引下げ

「野」の他と「動物し、この結果に対し、簡単を興へ群政権に対する線壁の

## 記念事業何々ぞ 京城府では大博覧會開催

は側の如く押寄せるものと類 に関する事権を統領せしめて

に紹介、金郎する絶好の概律

に順應して國民精神特別員に かし本府ではこれ等外間的 表の準備が進められてゐるこの外各種関盟でも記念中

政耕の強化從底を捌しこのほ

### 松。實路

### 派の選びとなったので、多数の壁 沿開係総据員は機関車客車と共に 擧つて新政權

の本層引揚げは三萬三千二百八十 の本岡引揚げは三萬三千二百八十 。現在鮮内に短留した支那人總數は必称准題貔趺以來鮮內在留支那人。 八名に過ぎず、この結果一月中旬

しぶく、引掛げたものは五百五十一病してゐる、各道別在留支那人は一

存を謳く三萬四千名

城大2

12、白承暫(普、翻採以(延季)

に澄々御智の目鼻がつき近く開

の避生と共に蔣政権との腐れ様で人名に上つてゐたが、北支新政権

つれも新政権を顕敬して親日を標 三萬四千三百三十八人を敷へ、い

五庭南一九九、庭北三五〇、平北南北人七、金北七二四、金南三三南战二、九五三、忠北二七二、忠

日初接合を通過廿一日恩位を機製、者はまる十五日まで被保修者の確ら論文を域大響の部に提出中十三、造し感謝のあまりに概全を由出た ○祖徳周期間的比較研究』と述す。)は『藤瀬中服動物中閣神學系統』と述す。 を加わてゐた秀才である
大神経科和神科の研究室で研究
氏は昭和二年京城醫事を卒業城

積込みは眞ツ平

文付のはず

及び排内に積んだ穀物六千回ご

たのち傾火した、振光大手

命配話了一旦年後七年十二

大邱の火事

合には、朝鮮に於ても利車汽船

**近局では汽車貸の五割引を行ふ** ある。なに割引期間は四月末 一決定 汽船資融には目下交渉

げた者が復隘のため再渡支する

船車割引 再渡支者に

中心となり被保護者の時局・風酸食一附近に購入した土地を合せてなほ に目配めて傾向した者は四十名に 時局は微微底に努力し、黝系所が一度を支持つても倒工場以外に金派 京城を初め全部各保機概義所では

一英国近くの音を併けた際である

スピード延事

ら僧託金を戻してもらつて撒熱感といふのであるが、犯人金ほ用か 間位原因は温突の火の不始来から 城大軍優勝

望されてゐた若言學徒、京城仁義何をはかなんでか、その前途を驅 城大生自

【ホッケー】

されたので傑作の自殺と判明した 「我のもとへ同君からの遺伝が配達」 殿前等創道大倉は廿九日平等

臭れ』と含いてあるので安心しそ の手続を持つて來た、開けて見る。里に嫁いでゐる阿人の輔錫棗さん は疑いたものである。 極めて少数な調研網だけでの二月飲なども、日本人の

6百)て京畿道金浦那貫城面和城 | 京城元町三原田カメさんを城市カ 四時計製物製玉方に二十五處位一て自称大僧正となり、某私大山身

李某を配下に元本府高官孝亡人や

鐵道局から賠償請求 

ナ販英四の富はどうなるか、興 現金二萬国を登本に七年間に貯 に犯罪は時期となって刑事上の公

様手段で七千四を眺取した

れたこの炬火を見よ!轉換期の半島思想界の

巨弾は遂に投ぜられ

れた!

高々と掲げら

の語 童 の (きっり特殊意見)

子 子口島 江園

コドモの陸軍 の歌

早まれたり

( 技 組) 小房子發出

定價一圓なる

新生朝鮮はすべて本書より出發しなければ

一萬圓を捲きあげる

金持未亡人や相塲師から

に十条年間銀つて前進力を得ため、媛安園町四五朝鮮佛教中央戦車巻(する地標で書い昭和十年秋全川山・鮮人の炎源を探う郷って「金剛山」李忠鳳蘭飛事が内布中・十二日京(列明した披露だけでも二萬間)達・組山港では夏近京に間を舞篷に内」の出張することを開込っ、小景((木)を引教戦前取明へ中であるが **釜課本部附除軍中將今井消氏 ○** と注目されてゐる

今井淸中將

いろくの

獨生

維納ライルハアモニック管絃渠圏 舞 曲 ワルター 指

会戦フイルハアモニック管法祭司 会 担 樂 第二番 ピーチャム舞電環

ロスパウト指揮(Linguistry)ギーゼキングです。)

開発が大

延 職

!二干萬同吖

- E

協奏曲

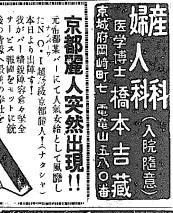
痛毒一切

### 與數では蘇聯が筆頭 全部覆面 た戦死者米佛人四名

那人飛行士は百名種あったが南京(戦に移替されること」なつた 関し病院で治療を受けてある。支 朝神楽海展雙党の事務は社会教育

京城地方 [4]晚] 唱]時

鲜展事務移管 轉



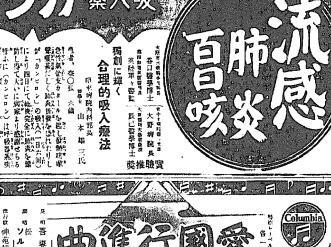
が近った 事年五十七 (第四は











內間情報部 文 部 省 策 定

(横化棋牌设入)



市國海軍女樂院公 內際新五、是指揮 內際新五、是指揮

中間神苑朝・破捷旗歳樂 商本出書三書 ソルヴェーチの頃 能されています。 日本 第 (水上が) 手 はけは伸苑朝・平和の 春 松 平 発 は (水上が) 手 に (水上が) ち 住 小三郎

見に於てい

北大戰線。歌 決死の便令 霧島 昇甲醛 久男 经 島 屛

主 題

歌松竹少女 劇女

篠 田 亚

露着の歌

大阪明日新聞社里戴馬姆 東京外語教授 東京外語教授

坂井耳島晒喉利

**医**院 坂井

(類似品に御注意)

ö

京成本町 一丁目入口

歌塚少女

郎

巨艦建造說 英當局探りを入れる

我が海軍管局が四萬二千トン總主
外称着はその否定内容が明確さた「ロンドン廿一日回盟特派負債」
、他としてロンドンに個へられたが B紙の東京特ーせるまでには至らなかった かつたので却つて疑惑を開めた感

毎日 - 田朝殿でも)本民城の竹郷 に結居する際に関してある。 東京・「二人会が観で、全京城 を開始し二十一日朝までに附近の 東京・「二人会が観で、全京城 を開始し二十一日朝までに附近の であり、二人では観で、2本京 東京さいを記録してある。 まいまして、1000円である。 であり、2世紀では、1000円である。 であり、2世紀では、1000円である。 では、1000円である。 1000円である。 1000円であ

名譽の戰死者

97~12月度5~2~12被府付添 に結局する硫化制し低低的格務場/一五四令数支~12~京城府12~2日後、杭州、京時間の山間の僧「京職・分談・京城府が開町」

主力とする詩伎隊は二十日朝杭州【杭州二十一日同盟】 繭山部隊を

殘敵を掃蕩

ソ條約に規定せられる餓狼を非常 ふるため、英外称省は正確な問報 

**東施の快報に全消各地の半島** (新京・朝鮮人現役志願兵制度

策を脱議することとなった。右に

景朝鮮人選年分替では、

心願兵制度資施に對する扱き

六名推 薦さる

新聞電報によって永知

書店荒し御用

人師心に心からなる歌語を探

**らろつく男を東大門署員が不審訊** 

的英既に深起の開節を表し

年7月18年1日 三ラウンド 白

#### 生决然起上る **ごんな苦勞も厭ひませんと** かたく誓つて志願 に漲ぎる感激 今となっては飛び立っ思ひをす 常に収 念に思つ てめました。 常に収 念に思つ てめました。

日府内首別町部観察者で、原子入名 のでせつかくの志望が容れられずて順書を提出したのを成切りに甘 れで請す六年にしか達してゐない

これは氣が早

二歳の長女は從軍看護婦 九蔵を頭に三人の兄弟ミ

||次男何得録が、三男問得能で、長し娘南丸船長に「大理船ならば降水

大阪から熱血の志願

女に野戦病院智識婦志願で同福子一船の必要なく、自力航行可能」を職

|工育陽所では廿日早朝朝野女大阪 | 二萬国その他一件が明確になった。| 鰯いたことを自供した明したこの報告に秘知を開いた前。| するが展闘べれ併四下水上が工程 | れ込んでから三十二ヶ所で煮引を明した

約二百五十件三百萬間の巨額に造 負は府遺職の強進その他を通じて

めてゐる、昭和十年以降の工事的。日午後釜山署員が大邱南山町生れ 内科学の女特仲居を召喚戦間に第一部があるので駆成中のところ十七

負工事者の振繹 替頭の押取と所

ほじめ共服店で戦々として萬里被【釜山】最近時内一流の百銭店を

· 平壤] 十九日府內南町城並除君

平壤も九人

等がを提出してりを始めていた。 できましてまし、Age になれ、 支房に志願の手段を称わて来のし、が平風書兵隊に屋殿を巻巻へ 然なとに大正士・年五月十一日生 知った青年が十八日三代本祖・昭山・平道・十八日 できましてまし、Age にんよ、 ないにも 一人 【韓山】 中間 19 名 一人 【韓山】 中間 19 名 一人 【韓山】 「東山 19 名 一人 「韓山」 「東山 19 名 一人 「韓山」 「東山 19 名 一人 「東山 19 名 一人 19 名 一人 「韓山」 「東山 19 名 一人 19 名

つけた資年がある、定平都府内面

黄登里一、10八裡里屬旅客室生李德陀著□、10八裡里屬旅客室

料亭の女將仲居を

**擴大する釜山の談合事件** 

業者卅二名を拘束

「興商」 志願兵制度資施……の贈」のつい「親商」 志願兵制度資施……の贈」のつい

あり、昨今の収益にて財産級和の根据が可能によるが配給に努めたし、国規律の可能にたべず就いては、の根据が可能にたべず就いては、の根据が可能になべずない。

興消にも一人

赤心溢る、

大きょう一の年度になったぞう ・ 地里院 から二人 ・ 語が載します。私は郷庭様代の十二 三級の風か・二十級に 「沙里院」 首四智君里を横(で) なってでもってけるのです。 北里文永貞(で) 前時に満年大学七日 東京都殿東と同時に選早く難禁告 初の、前時に赤田代南京本(4) 「「一人の年度になったぞう」

**愛國至誠燃ゆる大邱の若言** これで合計廿八名 萬塘(三) 岡辛森煥(1)の開君で今

青年が熟慮をこめて志願して出た 一方府内にはまだ正式な志順手額 これら志頼者に対する正式虔聴 一般の旗をしい軍人製を脳幕に描き、名に達した、新しい志願者は左のある。子供の名は長男供得度でし

総具分除に廿日正午現在で紹介九

によって質現せしめたいとの観で

指す億泉な半島百年は競々と元山「悠暖し廿餘年の念願を四人の子供

【元山】元山の志願兵熱は其後す

一九 洪啓稿氏 (平壤府館齊里田 に計局を面喰らばしてゐる、願書 役志願を申出た親があり適齢前の から廿一日平壌遺兵隊に愛見の兵 てある折構造々海蛇を越えて大阪

質励を希ふ』の批報を發し回時に

の主は大阪市東淀川萬十八條町三

酸の物果朝鮮軍司令官及び總督宛

『特望の極度管現を阻し速かなる

表される中國防日年版では戦争邸

直徑二尺六寸の

皿染めの日の丸

隻眼ピかこつ不遇の青年が

えをこめて 献納

「蝋酒」群人志願兵制度質施が登

殺動し無官を面解にせ、中に

仁川】志願兵制度實施に對する

加にも血

\*)に血毒で志願を申出でて血

新義州も既 野田た、これで合計せ名

並に文新の条輌につき光分盤職し、青年版の1数やる貨物務能なる主(へらるゝことになったことに、食っの安定駅カとしての管臓の地位)により、この傾向は縮んど条輌師(茯等の志覚を 建成する機會を與いて文字を対して立となるようもの多数(今回いよく)、活動兵棚度を質応して声楽の意外の表別の東大性、東超に放ける権)を提出して立となるようもの多数(今回いよく)、活動兵棚度を質応して新来道網額以來中島の民郷は克(比血費を図め、皮は橄欖峻町普遍(移作隊下は中央管局と座)せられ

劃期的制度に感奮

皇國臣民たるの本分を竭す

益々其の青春の重大なるを自覺し

中樞院參議 孫 祚

層面所努力君國の盆出賦を

感激の極み

り質に半点統治史上輝しい一貫を

釜山で更に

への志願者に達越都達西面内閣「を観へた少年もあつて感慨の拗面は右の外廿日までに大邱憲兵分」與語を携へて切々たる熱談で支懐をすって、別名をすし、当

れ一過ぎまでに憲兵分隊へ十七歳から一旦。

専門家や新聞記者の審判員乘せて

の放送に抗議

のため十九日の環丸が直慢に確求 | 磔して江日へ向つて道んだ、ラチ | 南丸は悠々敷時間にして江口に野

学院をもつて川助した オ放送が客覧とすれば、田航三時 宿し、在りに開発につき、た後五 探索音中には宮野大阪商崎京規 開発りにして統行不能で引起へす 時には両岸艦へ開催して、かくし えたり、株のよりは未の報告である。 大変に最かまの場合である。 大のよう。 は元よりは未の報告、水 と関連しての一時過ぎである。 オ放送に対する批判は たい 手架、前をがける場合である。 大変によっていません。 「根上の関連とればしてラデルスといません。」 大変に対する批判は たいません 大び主義。 南浦の新聞記音を設合してラデルスといません。 大変に対する批判は 大変に対する批判を表示していません。

| うち二人は成興和物位屋丁職物位| であるかどうか?この魔質の郊野|| 徳内に浮動する米片を続い如く破|| の前には何らの顔かも見せず、|| 徳に元県崇削たる姿を現はし密頭|| 静骨能は勿笛のこと入港陸隊の窓 かくしてこれらの観剣者をのせた|| さをもつて取り個人でるたが、|| (成則)、1日午後四時成興療長分|| 音楽に前事後に大打戦をあたへた | 十名 | づれも形外に軟弱で繊維の確米船

聖代の忠澤

身に泌む有難さ

半島統治上割期的な善政 咸北參與官 張魒根

関各栗四にあり

婦人の赤心

野婦人会員は財間品の東継がに皮 「永同】微川愛図婦人会員並に図

るので一般を感覚させてゐる

養女を資派ばす

ħ

4

1 da

昭和九年六月初め頃前記義女が今 は派な盟で崩壊が年頃にん

**押したもので大邱器では目下金を** たので某物をへ前借二百八十四日

事件の取調べは委山器の格徴によっかれてある「戦に、等の問題に今後に重闘を指しり黄仲正方面行き貨客幅送に大打「釜山」府民を繋かした土不蔵会「邦謀で等の問題に今後に重闘を指しり黄仲正方面行き貨客幅送に大打 全槐山氷上競技

一緒く解水したので軽信汽船でほ廿 戦を興へてゐたが昨今の暖か言で 年前十一時から横江で華大に開催 山廟支島共同主催にかくる第一 【永同】姉妹紙毎日申報と東亞機

治療に豫防に

今スグ守妙をノ

感情を輕視するこ

日から西島線、十一日から延安線

稀代の少年掏摸盥

物説砂取した稀代の少年掏摸搬一 興馨に一網打盘

よれば優れた發汗、解熱、疼腸の作用に
を良くし新陳代謝を旺んにして身動をョ を良くし新陳代謝を旺んにして身動をョ 陰絶對に無く豫防に用よれば全身の血行

より速かに症釈を輕快ならしめる理想的よれば優れた發汗、解熱、疼腸の作用に

な契例でする

守妙は一時抑への化學築の如き中毒の危

返しの付かの結果を招くれ、防膜炎等を引起し、途に収

浩 'a 南極淳 'a)の開名を主瞬に 作学士二月初旬成州郡政合館與一が自安を**取**む、温突内で単独に 作学士二月初旬成州郡政合館與一が自安を**取**む、温突内で単独に オーバーのボケットから首六十「米辺御した 城部 北西 東南原

日朝金山憲兵分隊へ 横五尺七寸で自地に直徑二尺六寸 の一和丸にありと血器しただ大な

千三百餘圓握つて姿を叫し

吴

過敏北支行きの 軍物公用 志順表非常時にも一人前の觸きが出来す

たので悲観とか今回朝時同胞 知果に難に並んで釜遊山兵分隊の

**江華島** 

て子三百五十龍を構填、そのます。 一部 職 申 既 揆 (指標) 大子工作の 事情に 中大部の内容を主 は 一部 郷 申 郎 揆 (指標) よつて所轄発光型では時を約50岁 「同一林一市 超 (銀山) 犯人の所在を根据 30と共に、犯 「同一林一市 超 (銀山) 人の立場先を北高校郡基内団紀人 トロー言を 発生上

都近永(燕岐) 都一班 安(論山)

(千三百五十四を脚取、そのま)

【光州】 観光郡大場面元興里四三

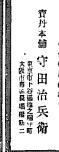
忠南辟今(廿)日祖

/を妙守ゲス時なんこ間 



個 定 ◎ 各 興 店 に あり

**预丹本舖** ,大阪市南岛夏城健助二、東京市下谷區地之福州町 明 计 田 治 兵衛



漸~解水 邦家のため結構 森信丽航路 運航を開始

\*

以本輔で死ぬ

粒一粒病根を

の苦しみを解

せられよく

**2** 2

一五三二十十十四日日日 備本丹霞 衛 兵 治 田 守 場の他區谷下京東 五八九二京東諸提 ノ藥リブヤシの特獨

パッの追他起てシ

レッド・アステロジャースとフ

グレタ・ガルボがお好き

世界の名士とスター。川帖

盛園ではその後側立された朝鮮映、この現実でに朝鮮の映画現態、熱地もその存在を認められた原碑映、原館に舞して提携交配を進めたと地帯「莨路」を送つて内垣峡部界(大野)これが寛外に平間ともので 露殿作所(再総氏主席)で計器の| 底を買ひ更に内地会社として切録の職のはこの後側でされた朝鮮映「この東路でに前鮮の映路集團三熟 問題は『軍用列車』を鈴木重吉一映路に先便をつける意味がい

近く。軍用列車、若手

を造り、更に併取も現真依子と「終系」としてもむっても、これを出り、更に併取も現真依子と「発信する朝鮮映動製作所の識政府と込んだ阿寅映選で犯責は「お職」同一派に非常な、リキリ方で近く

前進歴』はりのガッチリした地版。が質現すれば世界の名称金剛山が

契約が取交はされた模様で、これ

交渉が進められた結果、來鮮の母

身的努力にスパイ接減をも織り。を手がけるとになったが理解映版。『軍用列車』は時局下における。かくて内師一盤の下に第一回作品。『軍用列車』は時局下における。かくて内師一盤の下に第一回作品

を手がけるとになったが理解映版」が、京城東方面に對してぜひ全様

ヘトは 阿光映鑑の手により 國際映

した肥致時間製作を競裂してる大船の海水宏監督も朝鮮を主題

アングスト氏來鮮か

用列軍」をほじめ五本の転作が

古地に同く朝鮮時間見に漸く黎明が訪れた――所報の中ろに昨年『武路』 を競技した理解映構関は愈上内地の軍撃三結(て積極的に製作に乗り出す

松竹、東寶轡を並べて進出

」とも既報に如くであるが、更に上海にあつた全員根庭者も随鮮後高環映 にたり 田野と館を削く松竹でも清水安監督が今秋朝鮮物を手がける

スタデオ(日活成に松竹)も配

分かけて製作するとのことであっ

やらずく葉明が訪れることになった。安那事變をめぐる日本映画界の北支

漁出と並んで、半島映画のこの後提新段階は差界はもちろん一般ファンに

箱テン

か外-彼女の汉群は明明た門前 と称れたければならなかった。

配がたくなったか

といいいいかになる

最も儲けた併優は誰々?

・クーパー10マーナ・ロイ

たつた一人の男優として老巧リュ ジアン・ベルウが出演、その他は ドで『制服の成女』と同じや赤ちゃんをめぐってのエピソ **企製った題材で人紙を呼んで** 例により一九三六年九月から一九 三七年九月までの一年間に全米中 で最も収益を駆けた人気スター十

新雄マドレーヌ・ロバソソン以下

の若い健たちと赤ちやん【二月年

**被金座封切** 

二週『五人の屠族兵』と共に京城 つ、若人を選ぐ元組 大山健二の確父君は 九十八の高齢で尚且

んなの』に大山『おいる 祖父さんの長辞法つて、ど

有名だが、高解三枝子が

和への道は製作中の鈴木喰吉氏が北支で獲見したスターで

明朗北支銀幕の花 右から白光(一季明(三)碗\*(\*)

これは「事件平

マシーおり 火山あわてい 、べからざら瓜大方法が、

鮫に戦みられた

ン・ピクチニア・ヘラルド話は個一テンプル臓ちやんは散マリー・ 行者、映機關係者からの投票を訪して・ヘニー、ジエン・ウイザース 歌トツブの葉冠を顕得し、その他ヤース等名便の亡き後を承けて一 前年度に比べて躍進組にはソーニ レツスラー女史、赦ウイル・ロツ

ロイ等がある、一方英國で行つた 語で聞いて見た 何誌の投影でもテンプルは第一位|

と思つたが、それは朝鮮人の店で 世を越したららかと思いれる年 と共に院を暑えたの 液温里の方へ行つ 液温里の方へ行つ

私一頭の下も思いだった。今日

ての意識が燃え上つてゐることを

キヤブラの新作

一番の案内で京城の40年を紹介に一番水監督はこの程来城の40年を大山 かしてゐた、同作品にとりかるる 朝鮮特異な風俗をあさり非常に異 鮮の人と土を如何にとらへるか、 のは今秋になるものと見られ、朝 き

映畵コンクールへ 邦忠二作品を國際

東京發聲作品

北支のある部落と在 熱逆支船軍の手から

領民を守つた部隊の悲 | 関係映勘協會では本年度の第六回 都作品として松竹資都作品表質自 |映畵を選定中であつたがこの程候 之助監督『大阪郎の陣』日情多様 加を総語する他、紹介機関の優秀



いので、その方法で作つたから分を入れると、水と油が混り易

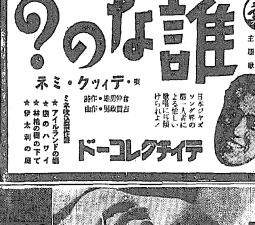
うど洗濯の時分るやうに、不能ませて作るので、それにはちよ

クリームは元々、水と油とを

るかといふと、

なぜ、そんなバニシングもあ

なのです。



「小鑢」になるのです。
そして、それが動くたびに集なつてゐるのです。

この様に「ちりめん皺」の様にでみると、無數のひゞや荒れで節のなくなつたヒフを駆微銃

|たら、若い方でもだん-{~ヒフ

もし、そんなバニシングだつ

の艶がなくなつてきません?

思ひもよらない事ですが、

かぶつた感じになりません?

らよつと硬つた様な、うす皮を冬、パコシングをぬると顔が

# 老人に訊

#### 朝鮮の、大地、をねらふ 過級北支よりの闘途来城した松竹 **清水監督製作**

の指導に當らはずである 平和の道』完成來幹し、理解映畵 活動に入るべく指々準備を進めて 擬影所附近に映路村を建設して「

める たほ鈴木重吉監督は一

てそのすばらしい容姿を現すこと

はじめて完全無缺むカメラによっ

游蛇を担更した、特に脚 い電話マニア・ファンの 可しては頻繁と電話する 人が何度番號を提へても中

ルは二ヶ月間に七回電話 スターと冒話

(BY)が製作並に配給について 市から温鮮した全背根監督によ **隆映講社(李郎川氏主宰)では** 鮮、崩を舞かにした作品を

薬部長がそこ 縄來雄の既契約が行換助に乗出すことになり8Yの手

この作品に對しては松竹プロック

クとした問期的國際映畵を紹作す **々製作準備を開始したがこの大作** 

清水監督の支那映畵 地の續篇。息子達』 松竹の大野心篇として製作 心に支給の地主、軍師、問題と従 「大地」(近日京城封切)の類は

辨撮影所建設 北支に日支合 各方面で要望

は目下向方面を背景とした映画の

国映場社の「立上る勢古」その他

洋平和の道』をはじめ同盟の

製作がしきりで、東和商事の「宋」の方面において先躍するが注目

長命の秘訣は

便通は毎日一回 食事は腹八分

一个時のラギオ

5) 有明治依果為利耳秀田登記 商業登記公告

新成本館の「格工館」 高山、二十二 「山大小中」 「開業和選款文、北本語ヲ解利金川 を登記に入公中」 「開業和選款文、北本語ヲ解利金川 のは、「金の「本語」、「金の「一」、「こに入の上」

后日 8.转换代替三股子左此才看 一里提在七号之时用始登上提升 三里上奏着上被在断回的市场给之 李雕贯间置画船间面西阁里考录 龙雕变间第三路 モニ開海丁ノ島昭和倫武、詹武 法人登記公告 **蒸開城支**唿

が勝安州と

供もB 売れ性用各の優ピファンデーション化粧下が 錢•東京麻布本村町のとり | デバート 有名店ニ有り • 試用四錢切字 • 伊敦化學研究所

これ迄の半分量で使つて下さい。すぐ分るでせう。おなれになる迄やわらかくて變かもしれません。これ迄のパニシングと原料も製法もまるで違ふから

一般といつていっと思ふ。 粉と同様パニシングの世界的はれるオリーブで作つたのです。

分リスリンを使はないで作るこ

このクレームには、悪い石鹼 石鹼がヒプにもお化粧にもよ

くないのはご承知でせう。

とに成功したのです。

る威じもないのです。

そして油の中で世界最高とい だから、そんな厚みも、硬は、



自館花浪画

式が

| 一月廿一日より四日間 | 1月廿一日より四日間 | 1月廿一日より四日間 | 1月廿一日より四日間 | 1月廿一日より四日間 | 1月廿一日より四日間 | 1月廿一日上日上日 | 1月廿一日上日上日 | 1月廿一日上日上日 | 1月廿一日上日上日 | 1月廿一日上日 | 1月廿一日 | 1月日 | 1日日 | 1月日 | 1日日 | 1月日 | 1日日 |

統制を暴露

じて居たから、身の丈い五尺八九、○『ドーレ……』でもお武士に違いない刀を二本意。平『観む』 ツと思って見ると、双面をした何一掛りまして

将田林平と表って、却々ない人物。平「舒道遠に安井明五郎と里する代官所へ腕へ間でました。代旨は、〇「何用にござっ」ソコで基連枚明けを持つて所の。たかと思って聞いて、 でございます。其の手附の者が來一者が、帝在をして居ると云ふ事で 〇「此の鯔層・何だ」 きい男だつたよ 寸、六尺もあるかと思ってうた大。 取次が出て見 こうば人が多くの手 ソコで早速食明けを持つて所の ○左衛 先を連れて来たから、何事が出来

The property of the property o

平「然らば、一寸だれへお呼び下

は朝鮮・知 当

一、大台灣小樓里

会会の言

本局五一九一番 附明治 町 英語大学主義者が知る日本語とは、これは はからのこのにいいしいはこれが、 を持ちない。 は正確、一等的様々人を日本。 が、連載な特別がはおいかけ、 が、連載な特別がはおいかけ、 を出ている。 と出ている。 は、一等のでは、 を出ている。 といる。 にないる。 にない。 にない。 にない。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にない。 にないる。 にない。 にないる。 にない。 に

質に言ひやうのない機嫌でこざい まず、非難を聞いて店の者は大き一〇「ア、左探が」質に言ひやうのない推続でこざい。す』

j,

明・ 見方も重力もこの頃
明・ と行動を用いて変る
配・ かった用心場りである。 値かっ四五十つも押・ 値かっ四五十つも押・ であるがなくないでは折角期 であったが、 条件場に はったが、 条件場に であるが かったが 大手相場に

**毒婦の逆怨み** 龍齋貞文演 木俣茂媚畵

〇「此の終星に覚えばないか」

|| 成スに來て急に用が出來て、遺伝|| たき『呼言のぞうに手前與へ全り || 起れは安井将五郎が相類の子都を | と云ふ者はどう云ふ人物だ』 ます、非隣は信さも僧し腹しい まして、主人と四番を食して居り と申しますが、一も安井さん二

で闘った実時に励れて行ったものから迎びが來たものだから、急い

でこざいます、共れを死骸つ脇へ

感染々々にし、出れの確物もさも

「取翻したと云上鏡にして、モウ是」から、安井さんは暇さへあれば鏡 たぎ「ヤア大製だ、人役し……脈」主人が何處へ疑ると云上事から、れで仕處が宜いなと思ったから、「日毎日家へ来で居りまして、モラ | 投り出して躍いて、寝道具なども | 安井さんと云つて、金三家の者の ず知り 切って居る のでございま 何既に金があるといる事まで独ち やらに親切にして上げるものです

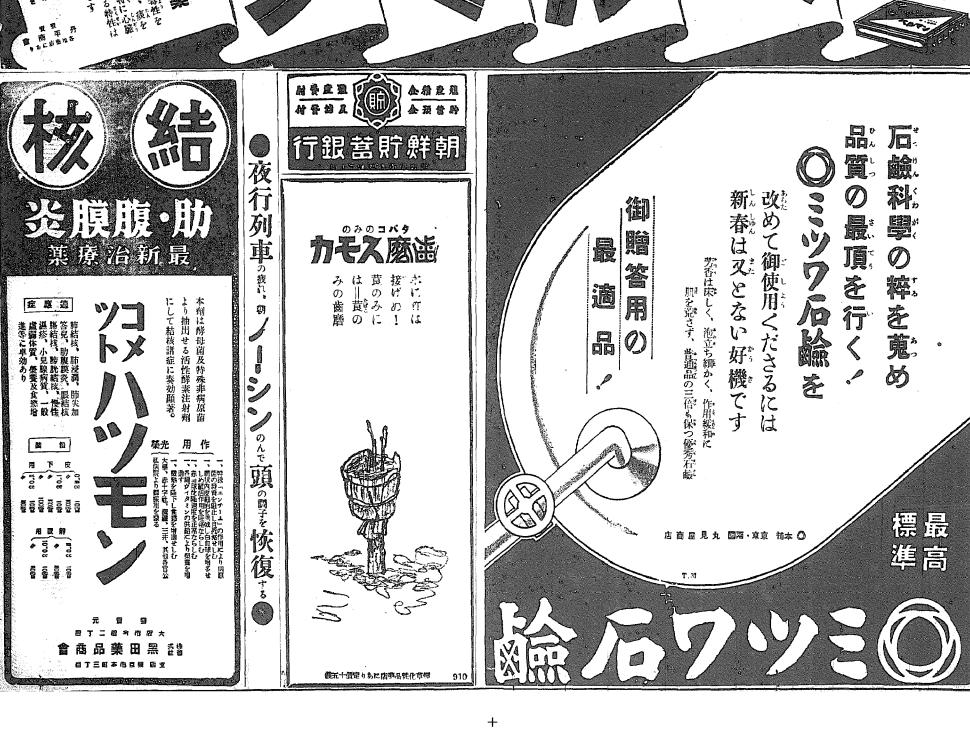
山本源作商店

である。
三流前といふヘノテーが目立つて來た。一切が開立って來た。一切が開立って來た。一切が開始を表現。 各個擊破 材料株

か來てお臭れ、人殺しだツ』

と金切撃を掛けて騒ぎ出した。





事變長期に亘るも

川崎克氏(民政)登城

新政権は傍觀せず

島田俊雄

處置するかといふ 問

賀屋藏相の演説要旨

確立まで介添役ごなる(鷺

員策だけで國語を知ら

本館 伊藤干太郎商會

全國鄭店ニアリ

更に少粉日く「朝鮮 

人と(意は)

國語の輪頭をせん



運動急速に具體化の模様

川越大使は



単電点側の膜に上る質は 石家莊、太原尊を神

\*\*\*

肝油を

する為めに

お

飲み下さい

一番よいめがね印が



朝邮选其除司令官

経譜を疑賦しながら期 冨少階が司令部員に

を知らとし 出来のぞこ と本とこで 可含部の何 か内地にあるやうな地く「朝鮮語は鹿兒島と 表だ、その地方の靴を その地方の真の事情



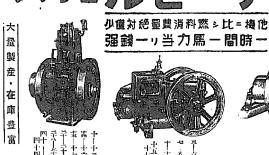
魔農、夜盲症、せむし 膝唇質、結核、助観 **愛養不良による眼疾** 建設者の健康保持に 顧習、凛偏の勧防に



**水** 让

**上備行動** 弈





四十四馬力

十五十二月力 十二馬力

七八馬力

日を健遠して土地を放いて土地を放い、更に御手洗礼技術の施設にて土地を放ける時間での施政

內容

百二十馬力 三宝—三十馬力 学·七二九十周力 二十二八十馬山

支那側損害は艦艇廿七隻

飛行機は六五九台

**阿然似界,權展** 

國民政府相手の交渉は

劈頭川崎氏の質問に首相答辯

衆議院太

は本府に招致して、同様 のたの更に

米内海相の説明要旨

於て、中島統治の目標をは

「歴代の 御枝成と先人の

甲『おい京城は大都會

對第三國事件

ラ回の作戦地域は外国の権

杉山陸相の説明要旨

總督の訓示傳達

作戦 航空部隊の

時局に躍るスパイ

被等に好餌を與へぬこ

朝鮮憲兵隊司令語 大揖

第 東 東 東 東 東 東 東 東 田 200 の A 200 を 120 の A 200 を 120 の A 200 の A 200

乙一一體どうしたといる「これやさうだね、しい・・・

乙 [さらか、そんだこのだよ。]

植物ホルモンで

何病にても 慾だけは 急進

適當の機會

モンの研究が綴々払け 誌の上には、植物ホル は、植物ホル の 獣は質に遺 は 世時人は、金属到る成の場所 は、金属到る成の場所 は、金属到る成の場所 相対のに振順、相対に対すたは代明 からなべ、高速がある。 一一 しょりがあるがある。 一一 しょりできたする 一年 りできたする 電外 はかまれた は りできたする 電外 はかまれた は 大切のこと

られてわますから、耳



の完備を見よ、活性を充分に保護してある。ほきた集の完備を見よ、活性を充分に保護してある。ほきた集



用者奉仕 春福當 二重特別景品洩れなく添附物業優券三百六十名様贈呈 h

迎春福當り券添附贈呈 ネオネオギーお買上毎に

門、油敷砂装、両年四月中日刊新開新上三、抽象別日、同年三月中。

能時代を築いたのでしたが今度は 駅の四横綱が現はれて相撲道の黄

☆正五年頃大刀山、大崎、西ノ海 「翻着はよく知つているでせら、と | 方法には色々ありますが背通には

へは蛙や蛇などが冬眠することに

とが出來るといつたら眼を丸くす。みて、長い館しの布を極み込んでこれが人間もこれと何じずりなこ。行者に一週間許り食物を食べずに

るで、長い間しの布を嵌み込んで

然に閉じ水解に配職が失はれて死

人同様になります、これを優死版

※菜の贈力をはじめ玉崎、武蔵山 るかもしれませんね、むろんこれ」

は際でも出来らわけてはありませ、特風に経験をして仕舞らます。 大一郎といひます、一千人百三十七年に歌でも出来らればいます。 もっんごえ それを呼べ引出して外の中などを 人同様になります。これを個死釈

へないようにして眼を学一丁度今から百年前に英國の路者が

つてをります、その中でもご永知

部が贈り通しで脛倒的な温味を 機械以菜山工的三层所全國、

まだ一度も負けたことがありませ

年相模の歴史にない事で、この輝

んなに脚ち掛けたことは日

い競脱を記念して相機協会から

配のようで本場所質に五十二回、

双葉山(は古色代目の横綱鹿の戦が兵変山に贈られました

16台県が殺初だといばれて るます

・機構のはじまりは寛政元年初



などといふのはニッポンの 皆がたりのおキッネさん マロニエ並木の曲り角



物館もしたのであります。

中でも小豆が味がいい アチラじや生涯、ピスケット集の関ではいふけれど たが、野つ原の狐族は デーズはコンもやん大喜び 不のまっまに抽扱と

# 。大相撲は最高潮。

### 四横綱でが進の熟戦に興味 れる國技館。

柳にせまた新進力士の母親が人気 採むけぶでいよ!~十一日目あと┃新迦の中では光州山、隅隅、前田┃ | 図技館 | における東京大和 | 常時にもまる和機黄金時代です | に開始に確實、或は大関といると いの方士様
じですが前田山などは 山、名寄岩、玉ノ孤など元気一ば

三日で千秋県となりまで

窓双葉山勝ちつぶけ窓

を呼んで毎日割れるでうな人で賑 | 今地所の好飯総から見て大場所に | 今年総設、青年膨脹に用ひられる | ころでせる ◇カーキー色◇

人間が冬眠する

の土の色にそつくりたのでカムフ の印度で連載のやりた暗針ではそ

ダースの身體を植に入れその部は

はこの優死狀態に入つた行者ハリ 年際に盛配させて行った質量の時

ああ分つた。いつも世話をして

心臓ひで酸重に封眼を施し、四方

色と解へてゐる人もあるが、即承 ◇カーキー色を柿色に通いせて柿 観の際にその効果が認められ、日 躍の役にはこれが採用された 製の既にその姚果が認められ、日 | ましたし呼吸も瞬ばも金く止つて| ◆わが図では明治三十三年北治部 | いのでへりばースは大髪に使てぬ の四十日もの間一碗の水を飲また

り最初この色を用ひたのは非國安

って再びこの様を聞きました。

た兵隊の番人をつけて約四十日た土中に埋めたのです。そして厳重 を添く窓間した掌内の地下四尺の

ージするにはもつて來いの色

が人工呼吸によく似た方法で手臂 あました、<br />
が行者のお弟子さん<br />
造

**印度数の行者の間では匿々行ばれ** 原不思議なことです、現在もなほ 返ってまた前と何しやらに丈夫さ の冬眠と同じやうなものだとの配てゐることで學者にも欠眠り動物 な人間になりました、これに質



っていらつしやるかしらん

印度教の行者は今でも行ふ

ダニューブ下流地方のバラガン地 ーマニア政府の援助を乞ひました 作物を混らず過

もの、そんなことを思ってあなさ、二人は、お供さんのところへ来ましたがなあ、戦争に行つたんだ。「お母さんに、きいて見より」 いいのよ、きつとお兄さんのいら、ませらか?」 引わえ、つぐみを逃がしてやると

『お母さん、つぐみを辿してやり』の方へ張んで行くのだよ、そして

においしい師を造つてやりましたす。武ちやんは、この朝は、樹別

ぐみが強しさらに関り出したので

「さあたくさん食べて、元氣で山」りする関に貼い電気が酸生して身

り、口を眺かしたり、呼吸をした か、人間だつてむろん同じことで、

の心臓の鼓動から出る電気を測る

ことを説明しました、今では人間

す、例へは耐岩が眼をまばたいた

といふことを勝君は知つてゐます

にその神經を限つて電気が流れる

つけて質量したところ猫が歩く度

た、四民遠は碧を低伐するのにル よ鸦に製はれて大振街を被りまし

方の玉蜀黍の蝦琉地は何百萬とい | 食 グリーンランド・・・

部との間の荒れた地域に人々のは

ケンヤのラスはモスパタサへ行く

毎 提道路に出水があつたので何島

もう人間に捕つてはいけないよ。「成る路者は礁の足の神経を覚覚の「ヘアメリカにはあます

他の一部を流れるのです、英国の

て心臓病を診察するお野者さんさ 心臓電流指導器といる器域を用ひ

グリーンランド神で大伊太群に船 氷に閉される までこの冬を過さなければならな くなりました



☆カナダ・・航空便 趾であらうと信じてみます

外の国におけるよりもカナダでは

考へるかといへば話でも頭腦

の腕が凝見されました、科別者た 丘心上にインデアンの大きな要素 プララ河の合施する地野の近くの ネプラスカのミツソオリ河とニオ

財政中であった。それらに見

ちに何既にもある有史前の闘争の

を振すので通じないとがあります。それに嵌って信も象が配柱で位為 搭版隊に大背の地質出上の時代の カーナーヴォン山脈へ向しました からとも交通が踏たれてみます。 また探しされない地方を映画に収 彼らはそこでクイーンスランドの 探院隊にプリスパーンを用發して 食オース トラリア…

未知のクイレンスランド

山から石線で選ぶのに十三哩の朝 の動橋が跳道と連絡して架けられ いロープの橋で、橋山徑間の或る スワジランドのハヴエロツクの銭 食南アフリカ… 遺物や化石を手に入れようと包ん 長いローブの概

ところは一蝿の長さに及んでゐま 方に持つて行かれました。 かカナダの飛行機で運搬されたの た、昨年は二千五百喝以上の影物」の商品が刑行機で選ばれまし

▲契のない小さな昆虫でも無硫に ▲芋虫の筬肉の数は人間の四倍も 置いて弱へてごらんなさい **耐君がお父さんやお母さんに叱** 

萬哩の韓馬既行

▲常の財政の重さは問題の二倍る

國技舘の華横綱玉錦の土俵入り

いよことだが、野星の見地か のなかには十九本のペンティ フと二つの鍵が入つてふたと 放近年街した一インド人の間 金屬を食べる

<sup>閩學博士</sup>德永 西小門町4瓜裁判所裏通)



Ø



人に千二百五十磅の慰賞を出すこ

まで馬に乗つて行つた最初のチリ 意を呼び起すためにマゼエランか

☆北アメリカ・・・

門のなかから五百以上の金閣 前病院に収容されている 一版

道具が自じ来た、そのなか 者はもつと興味がある、彼の らイギリスのチェスターの特

は海洋器に戦、ピン、網次、

古代の要案

(雑誌の不致のまとの原発的な

電話(先)1960日





適しておやりなさい。 あしたの類 と、お母さんは、おつしやいま 「ああ、それがいこ」 「さらですね、お兄さんのために

(開はロス五柱迄の周面)

**在存在口工员** 

加大

慶久

打つて監けは如門に包化する来上打つて監けは如門に包化するが、阿倉監は産化はまれて五柱と駆かつた、此農は平乱にて五柱と

海軍の排下品の釈言

法も大寸

餌と打ち込み總攻撃の火器を切っ

作品防雨で

防

と、武ちやんが、いひました

海を越えて、違いところへ飛んで つしやるところへ、飛んで行くと と、みつ子さんが、いひました。ましたが、歌目の朝は起きてから 武ちやん は、でな 領を続い、二階の窓を開けて、東 金色の光りが、あちらの屋根と森 の空を押みました。そのうちに、 一人は、その晩に早く寝 大方式

ى الايا حال

と次の七四柱を見せられて、早上の一手の影響は歴史で元文へ無い六五柱、七四五で元文へ無い六五柱に下手七四柱なら、七三五五柱に下手七四柱なら、七三五五柱に下手七四柱なら、七三五五柱に下手七四柱を見せられて、日

4

の間から気のやうに走つて、やが

を次のと内性を見せられて、已む 等く何級と性を切る様では、手句 の不足と、大五同事と選まれるよ の一手が大きいから像かに棋琴を 難してした、光五同項の出、六七 銀行司玉、七五年、七人王、大七 銀行司玉、七五年、七人王、大七

米國變寶輸入品!

累計 (加姓氏氏 辞桂步銀桂 三時間三十一分分

惜しい蹉跌 下手虎口を脱す **有 飯塚勘一郎** 

是を助ける事動が飛、者ではどう「透しを謳って四七歩と打つ、緊撃、おち、狙りの七四世はあつても、 其故で何より危険な一人男の鬼」の後には主手の景域に「私の人名のを待つより仕方が無い、御はは上手の景域に守つて恋」にもならなく、今は棹力防城してが ら武ちやんは、つぐみにいひきあ一いだらうかと迷ってゐましたが、

用けると、つぐみは何らしたらい一般んで行つてしまひました。 武ちやん が、龍の戸を一二三べんも遡つて、どこへとなく お醴をいつてから、頭の上の空を そのうちに飛出すと、さもうれし の進歩はヶ端を鶏具々に扱ること れるだらうと思ふことは最新科圏 さへ出來るやらになつたのです、 個しこれは窮囚といつても活動窓 異のやうなものではなくて彼狀の \*) ころで解若がもつと関か

井をお守りしてわると、 みつ子さ

「逃してあげるから、お兄さんの

さらに、尾を掘つて

んが、いひました

動 物の難の中に吐泉が起る | 囁さを測る器被即ち電流計に結び つまり人間の脳の中にある何子の のです、『腰波』といふのは矢根 ではどうして戦を選其に様々かと 線で現ばれるこのです り身體の電氣の流れの一種です、 といる無数の細胞の働きでたとく いふとそれは「脳波」を撮影する

あるのです、これを百萬分の一ヴ 中を絶えず世紀が強く難く流れて観着が終てるる時でも踏着の頭に オルト以下の電流でも感じるほど この「膜波」を研究した粉 小変に多く

夢を寫眞に撮る。事が出來る 動物の配内に電氣がおこる

肺 浆

感

本間の特は

○ できる○ にきる※ 恵 にも※ 恵 にも※ 恵 にも※ 徳 か 何 なる※ 徳 か 何 なる※ 徳 か できる

福を会む

朝鮮主産・ツルテラ 强人 賢人

九社

|屋一一五一| 響野東大三九ヶ下東島清水町局前

大好評足袋の交割もお知らて夫向品です背側用作装等

の本品に来収えり直輸入の結舶 (せ頭びを)の来中折行子にて高級クリュングを加く・打込かの、型は最新流行品 は穂毛高級品新 非貨時による はなれば二十回以上の品 (せ頭びを)

語官省鄉下品卸問屋 名古國

と打込み丈夫向品です青期とを改造加え近は中型革興逸と本品は軍隊の拗下中古靴 新品県ボッタス青訓編上靴

三個八十銀

中折帽子

4至20錢

東の間の表示を ・ である。ファールがパ子 ・ である。ファールがパ子 ・ である。 ・ でる。 道省拂下防水布外套(黑色 = 鰡

話をしてゐました。つぐみは、前 から、武ちやんは毎日小島の世 兄さんが、飛手に行われ てあるのだ」 と、武ちやんには、思はれたので どうしたのだらうと不思議に思つ くれたお兄さんが見えないので、

ラクダの毛布にくるまつて黒いおめめのおキツネさん

親子キッネは役へてる こんなに残くちややり切れな

のガールは翳いとて

動物頃のコンちゃんは メンスの昭布で過ぎる ここはフランスパリーのし ・木の排巻する時に 『中で、いい驚を出して、弱つて』 のれば、また提出で鳴く順島の | 「たんだんいい點になつたのね】

武ちやんはるな

切をかしげて、もつとこもらを見 示をこちらへ近寄つて、竹骨の間 こつこやらに、餌を造つてやりましちやんが、谷一ました。 まんで、差頂する、つじいは、泊 たっそして、あとで換典を指に れど、つぐみは、時々

と、姉さんのみつ子さんが、傍へ一行くといふことを含いてゐました

「森が近づいたからだよ」と、武一さんの此へ行くかも知れないと称。ました。これを見た武ちやんとみ ので、節から放してやつたら、兄一て、資和た盃のやうな太陽が上り

提問金七時間)

がキにて御註文次第一門づいに

海軍防水布外套 新品無子公司頭巾付 7 = = 回 回 九 = + + **的股份** 

雪 用!! 数 動水マント

伯林は台所の

[8]

常時はまだ (ミリテール・コン ん庇時代で今日の友好國ドイツも

質的一て今日の大を築いた人であると云

『再び世界大戰で露軍を敗つた……』

【七川】岩氷仁川男外事主任は法一閲覧の上廿一日入港の早降丸で踊

民衆樂士を謳歌

岩永仁川署外事主任の見た

生れ變る北支の姿

「開始 府里を録では來る二十六

開城の各學校

秦字漢、李嶷錫、金貞任▲宮町換、朴浩鎭▲元町公立普通學校

優良兒童表彰

和興業進出

萬一千餘 聞を計上全 聞を通じて

**舱入三萬二干爺** 

年二、三萬噸の尿素石膏生産

鮮内肥料界に革命

| 塁行するが表彰される見論は左の

全南地市規一「全南兵衆戦阿魏」一社、工場より続出して海軍権二権。「全南党関策」「全南地主義」 したことに制数され大地主、大倉

のである(質異はその式器)

「稲川」「稲地地における昨年十二 | 五九。2者)の「躍進を遂げ共内調は」る

して清酒、確結、衣類、建築村四三条 八輪入は三百十一萬八千餘即で

四百七十二萬四千餘四で前年同期

…また十二月中の通過貿易

光州】二百五十萬道民赤賦の歴。けて高射重機関終五十一基を戦絶。我が空軍の勢力を示すに至ったも

民の多類の職金をもつて全鮮に脂一作英郷三十年の歴史がこ、に無敬

て親貝知事の發駆で放戦を三唱し

**返費副職長金信仰氏等の玉串率数| なる決定であつたところ二十日午** 

前中までの金額に透か後定額を超 過して約二十萬間に上りこれに一

満洲大消費地を控へ

貿易陣愈よ活潑

羅津港昨年の總額千六百餘萬圓

實に五十九%の增

## **海軍機五台を献納** 光州神社で嚴肅な奉告祭執行

# 尊き生業報國の結實

南北軍事後援聯盟會長新貝知事、|更に進 内臓作 恕民と機械 恭喜等 ||部代表伊藤光州東兵分隊長、府||の自發的賦金運動となり愛聞全南

王色族のあるところ不安なと言。 舞につとのてゐる、架明県並の 和政権制定と浜に避難してゐこ。 在に日室旅と 拝成恭不孝の王道是近韓の版 風で提出即跟は三月十五日まで 天衆は親々に帰住して家権と本。 拝成恭不孝の王道是近韓の殿 風で提出即跟は三月十五日まで 天衆は現々に帰住して家権と、 拝成恭不孝の王道是近韓の殿 風で提出即跟は三月十五日まで

院員會を開催し左肥事項を決議 永阿】堀川産業組合では去る十

小傳馬船に乘つて盜み廻

八七四 4 大一頭四國

提川の區長増員

一千五百圓る稼ぐ

が住せしめるとになってあるが

御来の1、二.延長のほかに更にこ

強に増加し、特來も概大時以下

務用土地取得

【荷州】忠北道では三月二十二日 から四日間、道殿會議室で第三種 第三種教員試驗 **施行し被害が撤出するので替戒中** 

ろ夜類を一杯時めた大郡柳行李四

1川署の皆

九時から同校グランドで第七十八 【開城】商業學校では廿一日午前

【開城】昨年中に府居歌揚で潜役「蛇納税延期等に闘する規則を原

◆寒さも愈々松竹

季節の痔

通り可決した

赤誠籠る三千圓

慶南同胞號の資金

銃後至誠會に献金

開商の教練査関

で情観者表別式を舉行した、榮あ

院同服盟脱納資金として三千回 | が任命され廿日午後二時三十五 【蔣山】 郡内西生面鐵下里李根守 | 大きな五色観が翻つてゐるが

| 関南銃後至戦争に對し愛閣機 | 回ば更にその主任として王

十八日都守室弾して戦争した

沃川の籾共販

**機想以上の田鑑りがあつて三萬三** 

仁川辨事所五色旗飜る

【開城】替袋をでは武道照標

な少年刑務所と合同で廿一

脱数に地方関家の敗逃を受け、 永同】沃川郡の昨秋以來の精共

那人の新政権会加に對する準備

これで全く完成した

堤川産組評論會

一式木炭泥

大膽不敵四人組チンピラ 最後の一俵でお繩

| 1970年 | 19 **問題では孫繼穎々として木説を御 調べの結果との不敵なチンピラは おたものであるが、他の二人は行【票前】邑内中宗被皇郭棻的大一 ピラが真悲人と執明した、嚴重取 | て最後の一僕に継戒事から隆何さ** 

た頃である。このピットラー氏は

といふが彼尊の質素な生活を標示。一中佐であつた、ところがこのまました大阪護であつた。と、動物生労者に対一ケやに育ら場で、「ベルリンは啓防に通す」 たともいへる『宮属は語る上村聯』以下近隣保官臨場の下に続大た修 心順面的料理をめでたく修了、十 八日午前十一時から韓田内務部是 【春川】地方中野世年として本春



## 歌みに理中に、防寒風なしに一日動歌のに理中に、防寒風などのは、 岸みを繋える単端合かです。 は、 岸みを繋える単端合かです。 た 関連に 大阪 配画をたって、 戦画をなって、 大阪にフタレ上つ て、 戦画をなって、 大阪にフタレンプ である 関です。 大阪は、 方の壁面を主らせる力が公界によってのないが、 大阪にフタレンプ 命をに次いで得を悪化させるのが便 いまです。美俚は側れも廿級から 要な事です。美俚は側れも廿級から 要な事です。美俚は側れも廿級から

店 商 置五

灯瓦區東市阪大

外等は、製等、外等域、製作、外等は、製等、外等は、製等、外等域、製作、外等域、製作、外等域、製作、外等域、製作、外等域、製作、外等域、製作、外等域、製作、のですが、何れの症状にも、音楽を選びつい、領域の作用を持ち、現在の一方線を通びつい、領域の修行を応せるのが対象的です。これが数域のでは、現在のの移行を応せるの。 藥座退痔松 膏退痔松小 社會式株 • 店理代籍

取門(第は野歯殿の路崎でも。 財産駅 から観聴を至らせる事が底、の台原図 です。 胃の原因は色があります、 質へ で大震、 至家の神郷、 便路、 鼻組の殴 が悪い、 が、 の台原因

特有な痛みも、各様な形で現れる、特を通じて最も過酷 でえかり起 痔の…… 圈 症

仁川】孫賦北京に新政府の樹立

主任に王氏

見るや仁川在留の支那人は直ち

判の下に龍虎相搏つ熱眼を安し

Œ な手當て

取定に迫ひ込まぬ内に 原御出来る映解により でからる。 心必要なのである。 小が保護者、小松樹 退路要は古い歴史と効 現でである。 き人はどうする。要は来ぬ人がある。斯の如

様は特に、痔を都成しなけれてねる。そして病勢の 説しむ事の少ないビル海の 説が、彩田立ち暮すが原原路 に、終田立ち暮すが原原路の 自分が特になつてわ作ら、これのは妙な話だが、現在とよのは妙な話だが、現在ととないと ればならない。 ◇知らぬ人が多い 肛 三班時 門 病 

◇警告す!

不幸なる放任!

今世界に時めく英雄ヒットラー 歴史 的大脚を収めしめた

フマン中佐は我日韓戦争に始めか一日韓競争に大勝した日本軍が再び ら終いまで健康した人でこの日露 | あのタンネンベルヒで露軍を破つ

智試合を暴行した

校内對抗試合を行ひ引載き對外網 キシネマと 滝剣

粎 膨じ

生活には何かいひ知れ口間味があ一が直接その作戦に當りあの 源が民の第二次計選は忠州郡の割一政権の王戍海氏が顧問に任命され【示問】「鮮廟一如」の具現、北一政権支持の前主任曹氏に代づて著

洲移民

四戦争の数別を獨進が 「なタンネンベルヒの大勝は我日 春川農訓修了式

旦間毎日表夜二回▲永気」愛館「仁川」ニュート

雪鱼

肛門病には、内郷と外導の二通り

には、 ないます。 ないました はいました はいまた はいました はいまた はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいまた はいまた はいました はいまた 門の内部に鬱血を來すもの、外痔はある事を御承知下さい。内痔がちい

一叮本蓝树本日市京東

胖

菜

出

張

專

源秀

登療法と藥物療法との併用にあり

グアヤコール化合体を配したる理想的製劑である。 を消化して得たる榮養源アミノ酸に、呼吸器病治療薬 グアヤコー ルポリタミンはこの目的を以てい 牛乳蛋白

本劑は。 加して衰弱を恢復し、 の進行を防ぎ之が治癒を促進する。 神不安を去り、咳嗽・喀痰・盗汗等を輕減し、 の作用によって…… 然もアミノ酸は食慾及び消化吸收を盛んにするを以て、胃膓衰弱 を伴ふ慢性症に對し、本劑の應用は正に一石二鳥の處置である。 主成分たる消化蛋白アモノ酸及びグアヤコー 先づ食慾を增進し、疲勞倦怠感及び精 或は自癒力を増强し、 或は体重を増 相俟つて病勢 N

症應適 

契 造 元競 賣 元

大阪市州上通 東京市本町 大阪市道修町 肺結核に賞用 せらるゝ 理由

酸の應用の効果的なるは自明の理である。 故に体蛋白の補給には いので、胃膓障害を伴 結核患者は一般に著しく体蛋白を消耗するを以

從つて、肺結核の榮養療法にアミノ酸の應用は極め 縄アミノ酸に分解しなければ絶對に吸收同化されな 体内ホルモンの作用を强める。 と消化吸收を促進し、 補給である。しかし蛋白質は胃腸の消化を受けて各 て、肺結核の療法中、最も重要なるは蛋白質の 人体細胞を刺戟して全身機能を旺盛にし、食慾 ミノ酸はまた單に体蛋白を構成するのみならず 或は体質を強化し、更にまた ふ場合には、その消化が完全 蛋白質を消化したるアミノ

液劑 | | 大瓶(四国七〇) | 大瓶(四国七〇) て適切なる處置で、グ

アヤコールポリタミンの効果

の優れたる所以も茲にある。

頗る甘味美の 大五製藥株式會社 鐵 小西新兵衛商店



87(1)17

○無稅證明刻印付 以文堂銃砲部 大特價 次,以

京城明治的二丁里,京城明治的二丁里,

同語中計入中氏書詞言書、京成安命訂代了自《同信民典》、謝望了學べソト共命者へ他ノ正従了許サま北後へ率レデザ言書書書書書書書書書書書 新皇軍武運長久 聖 Œ

重

勳

品質量田武

院病人婦城京

版武縣区 几6.25回题 岩泰山松 生物创度原始 地域四九时海洲北极银宗 三九八三水三八四水路

和十一年七月一日現在現信地圖

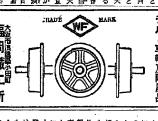
。此島東 取換容易なり。 を建さずして治臓 を建さずして治臓 を建さずして治臓 を建さずして治臓 を変さずして治臓 四一世 απ·απ· 店商邊田

11 金融月峡其他 利安 神子 コカ・コカ 村 上 カネコカ 村 上

**今名が代の合唱さへ聞ゆ** 

非常時に立ち上る重大聲明を 千萬民衆へ傳

初めて知る皇國日本の姿



大相撲譽場所星取表(gxinghi

がありは改します。 く、根本とり、 の書の前途にはないます。 く。 ないまたに、 の一般に、 の一般に

本語という大部 **酒井婦人病院** 行水樂町二丁目八七初4

振音素はMKOの番の電話本原五01元番(地局販賣元は)(型針進星)

**伊利伯** 11—可拉明的政府 第四—可本語句

特集要失会管理を以下ません。 前定子名調整大三行向フ三十古間 二異議由出ナキ時、展功トス 金曜山サ第三百様人会工

淋病が全快す

淋糸ウミが取れ痛も止つて

意外に早く治るのに驚く

性と悪性の

+

本で表現を表現を表現である。 花柳病専門 で

過 一日八時間副務月牧五十同內外湖ノ身體强健が働ニ城へ得ルモノ多敗以上三地人男子年齢備十八歳以上三十

年二回 昇給及貨與金アリ 整殊技能工及網際アルモノへ適當時格ス

朝鮮窒素肥料株式會成鏡南道與南邑

祉

言語系

朝鮮窒素

煙と消える青天白日旗

スパ

しても大へんよろしいので、こ虫でカユい時にお用ひになりま 西、飲、南京虫、家ダニ共他母

眼鏡后~

科科科

定指御

京城本町-7目 (郵便局前) ■本②5017番·振藝京城346番

+

ムを結合せしめたる代學的操作を経てア

東區伏見町三丁目 (戦日)本、薬・田、洋・行い日本、薬・田、洋・行い日本、薬・田、洋・行い月 (1) 日本、薬・田、洋・行い日本・薬・日経済・日経済・日経済・日経済・日経済・日経済・日経済・日経済・

特有の全解熱鎮痛作用を遺憾なく最輝す。完全にアスピリンの狀態に於て吸收せられせず……從つて重整を寄せず、対力を損耗せず… 獨特の板狀結晶を呈し胃中に於て分解糖質

外國品に勝る純國産品し

AS10

指定を乞ふ。(藤原三〇僧五〇僧)

**要買元 大阪・東京 茶式食社 独野議院店** 

服用時には是非"シオノ」アスピリンと御

なるロイマチス、感冒、ケリツペアンギーナ作用の外頭痛、坐骨神経痛、酔静経痛、神経溶性アスヒリンの眞價にして本鯛の待長なり

眼漿容易、吸收佳夏安全第一作用速かなり ざる病者を雖も容易に本期を服用し得

個 二二五五 八六五

朝鮮汽船出帆廣告 九州郵船筷出張所

日本九日出机 日本九日出机 日本八回年中六日 田日九日十四日十九日廿四日廿 九日出机 日本11四日十九日廿四日廿 九日出机 一四日九日十四日廿 九日出机 一四日九日十四日廿 

官公私立眼科 医病院眼科

配媒刑

州郵船出帆廣告

**鸱谷汽船株式會肚** 

、彼いて・海がない

を出すし

ト ッ ト コ

20 20 日本 50 20 日本 1,00 75 十大 2,00 1,35 婦人

Ť.

はマクニン

一月廿二日午前山市 一月廿二日午前山市 日午前山市

(田荷保専用電話) ○ 三語 人荷派電話:九語

高杉商店回漕部 日日本神文 月十九日日 日本神文 月中九日日 日本神文 日本神文 日本神文 日本神文 日本神 日本神文 日本神田田神神田田州

(株) 南部田県代連店日鮮町漁株工会社 ・ 東語五三九番 ・ 東語五五番 ・ 東語五五 ・ 東語五 ・ 東語

**非國際運輸會社** 

本 ジャベンアーリスとこ。